小学校４年　算数　調査結果の考察

（１）設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 ＼ 設定通過率の	観点別			領域別				計
	考え方	表現･処理	知識･理解	数と計算	量と測定	図　形	数量関係	
＋10％ より高い	3	2	0	4	0	1	0	5
±10％ の範囲内	1	5	6	4	2	3	3	１２
－10％ より低い	1	2	0	3	0	0	0	3
計	5	9	6	１１	2	4	3	２０

（２）考察

①　全体について

ア　基礎的・基本的な学習内容の定着が図られている。

イ　全体の平均通過率が75.6％である。また、20問中17問が設定通過率±10％の範囲内または＋10％より高く、学習状況はおおむね良好である。

②　成果

ア　「数と計算」領域の基本的な四則計算については、確実な定着が見られる。

イ　昨年度学校間の差が著しく課題であった作図に関する問題の通過率が、大きく改善された。

③　課題

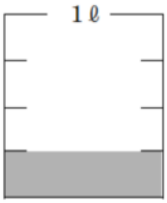
ア　分数の意味と表し方に関する問題の通過率に学校間で差が見られる。

イ　整数の表し方や十進位取り記数法についての理解が不十分である。

（３）今後の指導

ア　分数の構成や等分することの意味を視覚的にとらえさせるよう体験的な活動を取り入れ、実感を伴って理解させる。

図の水のかさは、あと何ℓで１ℓ になりますか。分数で答えましょう。



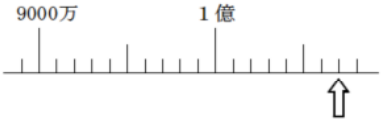
(7

・１mのテープを等分する活動などを通して、等分することのイメージをつかませることが大切である。また、はしたの長さを切り取って重ねたり、いくつか並べて１mにしたりする活動を取り入れることで、はしたの長さや等分した長さについての理解を深めさせたい。

・単位分数の大きさを確実に読み取ることができるようにする必要がある。そのためには、面積図やテープ図など様々な図を用い、「１ℓ(m)を○等分した△つ分 」や「 $\frac{1}{○}$ が○つ分で１ℓ(m)」という見方や考え方に慣れさせ、「単位分数のいくつ分」について習熟を図りたい。

イ　数直線の一目盛りの大きさを確実に読み取ることができるような活動を充実させる。

⇧のめもりが表す数はいくらでしょうか。



(8

・一目盛りの大きさが10や100、1000などの数直線から数を読んだり、それらの数直線上に数を位置付けたりする活動を取り入れたい。

・数値と数値の間が２等分や５等分されている数直線を与えて目盛りを読ませたり、その２数間の範囲以外の数を読み取らせたり、逆に数を数直線上に表させたりすることで習熟を図りたい。